

＼221号で／

知ってほしいことは**4**っ!

- 1 2022年度の予算が決まりました
- 2 2022年度はこんな保健事業を行います
- 3 2022年4月から制度が変わりました①
- 4 2022年4月から制度が変わりました②

イズミのお役立ちクイズ

問題

この4月に登場した
くり返し使える処方箋^{せん}は
3つのうちど～れだ?

ヒント

□□□□処方箋が始まり、病状の安定した患者は、通院や医療費の負担が減りました。

1. リポート処方箋
2. リフィル処方箋
3. リフレン処方箋

Point ポイント



- ☑ この処方箋は、「診療報酬改定(医療サービスの金額や内容の見直し)」により導入
- ☑ 患者の通院の負担が軽減し、受診回数が減ることで、再診料や処方箋料などの医療費も抑制

答えは
知ってほしいこと

3

へ



経常収支で0.6億円の赤字 厳しい財政状況が続く見込み

健康保険予算

経常収支差引額

▲0.6億円の赤字

雑収入ほか **0.9億円**

経常収入

27.1億円

みなさんと会社から
納めていただく
健康保険料

26.2億円

経常支出

27.7億円

高齢者等の
医療制度への
納付金

11.4億円

みなさんの医療費や
各種給付金に使われる
保険給付費

14.2億円

健康づくり事業に使われる
保健事業費 **1.9億円**

事務費ほか **0.2億円**

健康保険料収入の
約**44%**が納付金!



納付金
44%

納付金は…

- ☑ コロナ禍の受診控えの影響で一時的に減少
(前年度予算比▲1.1億円)
- ☑ 高齢化により今後は増加の見通し

介護保険予算

- ☐ 介護納付金に見合う保険料率を設定
- ☐ 収入・支出ともに3.12億円の見込み

予算編成の基礎数値

健康保険

被保険者数	5,000人
男	3,967人
女	1,033人
平均標準報酬月額	381千円
男	410千円
女	262千円
平均年間賞与額	1,115千円

平均年齢	41.40歳
男	42.99歳
女	35.05歳
被扶養者数	4,708人
扶養率	0.93人
保険料率(調整保険料率含む)	9.50%
(うち特定保険料率)	4.113%
事業主	4.95%
被保険者	4.55%

介護保険

被保険者数(本人)	2,688人
被保険者数(本人+家族)	3,802人
平均年間賞与額	1,060千円
平均標準報酬月額	438千円
保険料率	1.84%
事業主	0.92%
被保険者	0.92%

病気の予防・発見に！ 健康づくりをお手伝い

対象者 / **本人** = 被保険者 **家族** = 被扶養者 **任継** = 任意継続被保険者

🏠 定期健康診断 (7月20日～8月31日)

対象者 / **本人**

【内容】労働安全衛生法に基づく検査、健保追加検査、各種オプション検査(大腸がん、前立腺がん、ペプシノーゲン・ピロリ菌抗体検査)

🏠 巡回健診

対象者 / 配偶者、30歳以上の **家族** **任継**

・全豊田地域巡回健診

(前期:4月～8月、後期:9月～12月、スマート健診:1月～2月)

・全豊田地域巡回健診

(男性コース:7月)

・全国巡回健診

(6月～12月)

【内容】基本検査、各種オプション検査

【自己負担】基本検査料(年齢に応じ約3,500円～11,000円)+オプション検査料(受診した場合のみ)

🏠 子宮がん検査 (10月)

対象者 / 20歳以上の **本人** **家族**

【自己負担】1,500円

🏠 受診券利用の特定健診

(10月～翌年3月)

対象者 / 40歳以上の **家族** **任継**

【自己負担】無料(健保が負担)

🏠 生活習慣改善指導プログラム (10月)

対象者 / 健診結果と通院・投薬歴から、血管の病気を発症するリスクが高いと判断された人

【内容】専用機器を使って、生活習慣の中の問題点を見える化し、医療スタッフによる面談で効果的に生活習慣改善をサポート

【自己負担】無料(健保が負担)

🏠 インフルエンザ予防接種

(10月～翌年1月)

対象者 / **本人** **家族**

【健保補助】1名あたり1,000円

🏠 人間ドック (9月～翌年2月)

対象者 / 30歳以上の **本人** **家族**

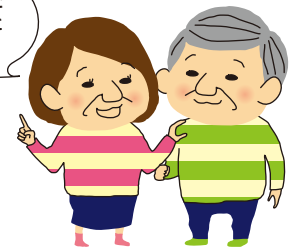
【内容】基本検査、各種オプション検査

【健保補助】年齢に応じ11,000円～14,000円

定期的な人間ドック受診をおすすめします

定期健康診断より**検査項目が充実**。
人間ドックでこんな病気がみつかる可能性があります！

定期的
に受ける
と安心ね



人間ドックで受けられる検査と発見できること

<p>基本検査</p> <p>胃部レントゲン検査</p> <p>↓</p> <p>胃、食道、十二指腸のがん、胃潰瘍</p>	<p>基本検査</p> <p>腹部超音波検査</p> <p>↓</p> <p>胆のう、肝臓、すい臓、腎臓のがん</p>	<p>オプション検査</p> <p>脳検査(MRI・CT)</p> <p>↓</p> <p>脳卒中やくも膜下出血のリスク</p>	<p>オプション検査</p> <p>・乳房超音波検査 ・マンモグラフィ</p> <p>↓</p> <p>乳がん</p>
--	--	---	--

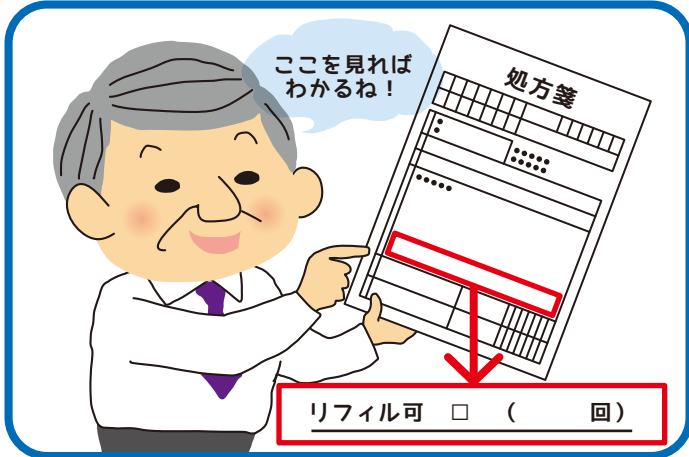
※検査方法やオプション検査料金は健診機関により異なります。

知ってほしいこと

3

2022年4月から制度が変わりました①

くり返し使える 「リフィル処方箋」が登場



病院でもらう処方箋は、ふつう1回しか使えないけど、リフィル処方箋なら、再診なしで薬の購入ができるんだって

処方箋の「リフィル可」欄に、医師によってレ点とくり返し使える回数(上限3回)が記入されていたら、リフィル処方箋として使えます。

リフィル処方箋のポイント

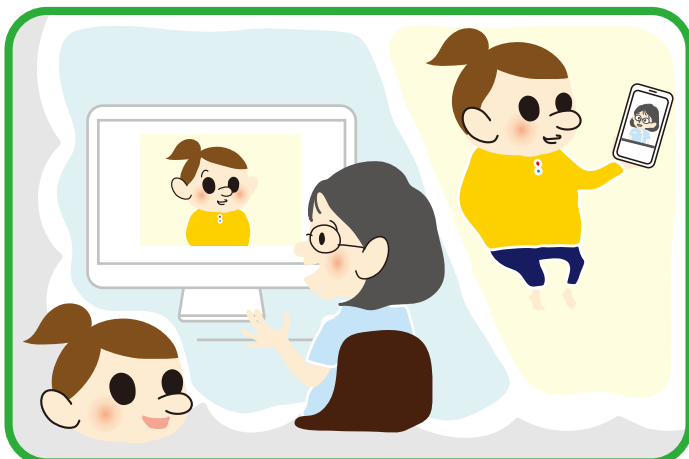
- くり返し使える期間は決まっている
- 同じ薬局で調剤してもらうのが基本
- 湿布薬など、対象外の薬もある

知ってほしいこと

4

2022年4月から制度が変わりました②

オンライン診療(初診)の恒久化



スマートフォンやパソコンを使って受けられるから、病院に行くのがむずかしいとき、助かるわね

新型コロナ感染拡大への対応で特例として認められていた初診からのオンライン診療が今後も可能になりました。

オンライン診療(初診)のポイント

- 医師が可能と判断したら受けられる
- かかりつけ医が行うのが原則※
- 対応していない病院もある

※一定の条件を満たした場合のみ別の医師でも可

オンライン診療の流れは
厚生労働省ホームページへ

